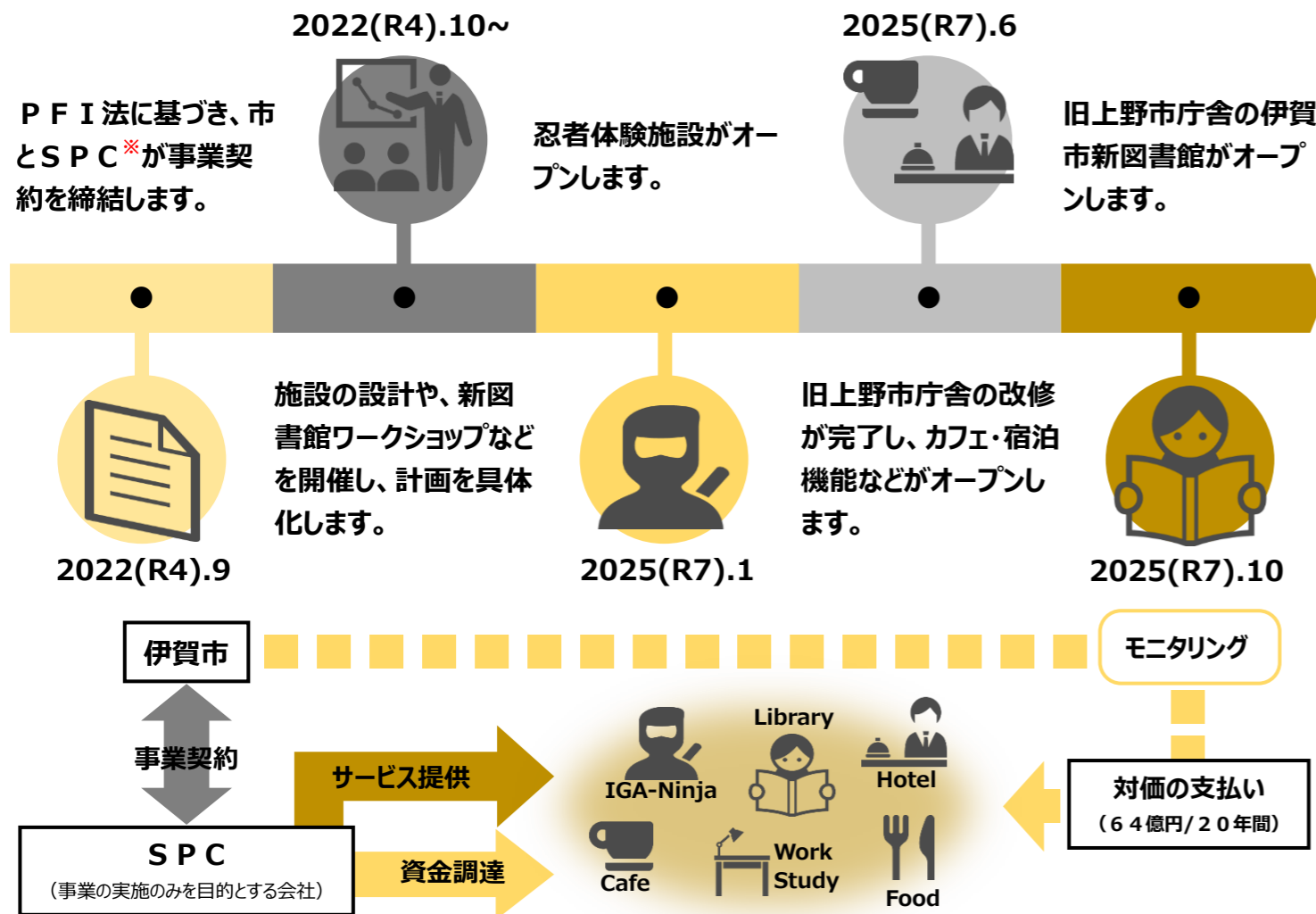


事業の流れとスキーム (体系)



みんなで創る、伊賀市のにぎわい

私たちの”伊賀市”には、全国に、海外に誇れる魅力や資源がたくさんあります。歴史や文化、景観、自然環境、地域商業、地場産業、農林業、地域活動など、長い歴史の中で育まれ、それを受け継いだみなさん一人ひとりが、一生懸命取り組まれている日常そのものが伊賀の魅力であり、それらを今後も大切に守り、さらに育てていく必要があります。私はこれまでに、伊賀市のトップセールスとして地域の魅力を国内外に発信してきました。今後さらに発信を継続、強化するため、大阪・関西万博（EXPO2025）は、世界中の方々が日本を訪れる絶好の契機となります。

「にぎわい忍者回廊整備PFI事業」は、この機会を逃さず捉えて取り組む事業であり、伊賀流忍者の聖地となる施設を整備するとともに、市民にとっても、“いつでも”“気軽に”集える拠点となる場所を、長年市役所庁舎として親しまれた旧上野市庁舎に整備し、エリアの価値を最大限高め、その効果を市域全体に波及させようとするものです。

伊賀市の将来にとって大きな挑戦となるこの事業は、この機会に実施することが重要であり、景気低迷、コロナ禍などを払拭し、私たちの”伊賀市”ににぎわいを取り戻すとともに、新たなにぎわいを創りだしていくため、みんなで力を合わせて取り組んでいきましょう。

伊賀市長 岡本 栄

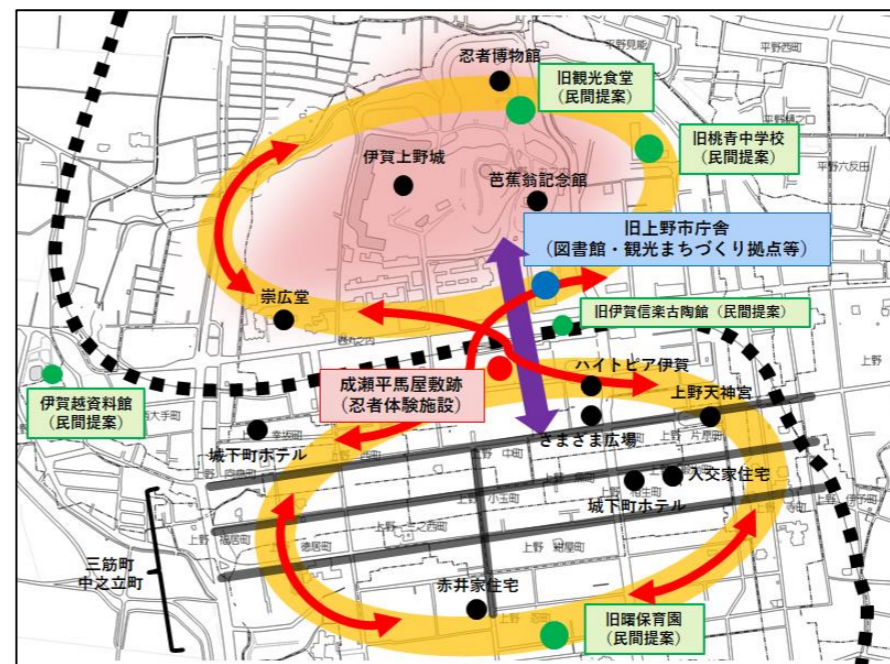
【発行】伊賀市（産業振興部中心市街地推進課・観光戦略課・教育委員会 上野図書館・文化財課）

みんなで創る、伊賀市のにぎわい

～にぎわい忍者回廊PFI事業（伊賀市新図書館・忍者体験施設）～

伊賀市のにぎわい創出、将来に向けた持続可能なまちづくりの実現に向け、本年度から本格稼働する「にぎわい忍者回廊PFI事業」の概要についてお知らせします。

◆にぎわい忍者回廊とは？



伊賀市の中心市街地は、「伊賀上野城下町の文化的景観」として東京の「上野恩賜公園と文化施設群」や、京都の「南禅寺界隈の近代庭園群」と並び『日本の20世紀遺産20選』に選ばれています。

この景観を構成する、中世、近世、近代の建築群やまちなみの保全、アフターコロナ時代における観光まちづくりに向け、地域に根付く魅力ある資源を面的に捉え、市街地を回遊する動線を「にぎわい忍者回廊」と位置付け、公民連携でにぎわいづくりに取り組みます。

◆PFI（Private Finance Initiative）とは？

公共施設等の設計、施工、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

にぎわい忍者回廊整備PFI事業は、20年間の長期契約の中で、安定して質の高い公共サービスの提供を行うとともに、民間事業者による独自の活性化事業に取り組みます。

◆この事業が目指すもの

にぎわい忍者回廊PFI事業の実施を契機に公民連携に積極的に取り組み、大阪・関西万博による集客効果を最大限活かすことで、事業効果を地域内に波及することはもとより、政策間、広域を含む地域間の連携により「誇れる・選ばれる伊賀市」となることを目指します。

これまでの経過はコチラ



～2025

●大阪・関西万博 (EXPO2025)



Future 2031～

にぎわい忍者回廊PFI事業

- ・旧上野市庁舎の改修、利活用
- ・忍者体験施設の新設、運営
- ・忍者回廊エリアマネジメント

地域内連携・協力

中心市街地のにぎわい創出

Beyond 2025～

政策間・地域間連携

誇れる伊賀市
選ばれる伊賀市

にぎわいの拠点となる施設を紹介します

坂倉準三が生み出した芸術空間を活用した複合施設

文化を守り、育てるということ

伊賀市指定文化財『旧上野市庁舎』は、日本を代表する建築家・坂倉準三が設計したモダニズム建築です。坂倉が創造した芸術空間を、交流型図書館を核とする複合施設にリノベーションすることで、市民が日常的に触れ、体感できる機会を通して、市民生活に文化・芸術の豊かさをもたらし、伊賀の新たな魅力と付加価値を創り出します。

“知” “情報”の拠点
交流型の新図書館



“観光”
“カフェ”
“宿泊”

文化財図書館

外観イメージ

泊まれる図書館

地域産品販売

カフェ

広い学習室

広い駐車場

～ 学び・創造・憩いの広場 ～

本・人との出会い

館内どこでも読書

貴重資料
地域資料

授乳室

忍者コーナー

起業・就業

内観イメージ

屋外テラスで読書

開館日・増

Wi-Fi 完備

新たな観光拠点となる忍者施設で鉄道南北の回遊を創出

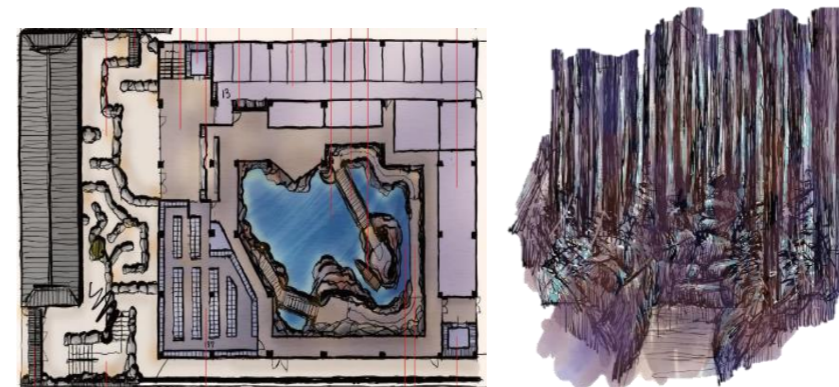
市内観光の新たな目玉施設として、また、城下町への回遊につながる観光拠点として、成瀬平馬家長屋門（市指定文化財）が存立する成瀬平馬家屋敷跡地内に、「伊賀忍者体験」をテーマとした新しい施設を整備します。

この新施設では、体を使った修行体験や、伊賀忍者に関する学び体験など、様々なアトラクションが楽しめ、さらに施設内で宿泊することも可能です。

また、オリジナル忍者フードや、忍者グッズを提供するショップも併設し、訪れる人が1日中楽しめる施設となる予定です。



断面イメージ図（東から）



平面イメージ図

館内のイメージ図



立面イメージ図（南から・北から）

この忍者体験施設の企画は、「新横浜ラーメン博物館」、「鬼平江戸処東北自動車道羽生 PA 上り線」、「箱根サンデグジュベリ星の王子さまミュージアム」、「NINJA AKASAKA」など数多くの観光・集客施設を手掛ける空間プロデューサーの相羽高德氏が手掛けます。



相羽高德氏

点から線へ、線から面へ

周辺施設や城下町エリア一帯をつなぐ取組として、事業者（SPC）による様々なサービスやイベントが検討されています。

【回遊促進】

- ・レンタサイクルサービス
- ・電動モビリティ貸出サービス
- ・オリジナル地図アプリの活用

【にぎわいの創出】

- ・駐車場スペースを活用したイベント等の企画実施（マルシェ、フリーマーケット等）